

忠生地域・バリューアッププラン

地域の自然環境を活かしながら
「健康・交流のまち」をめざす

町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会

2

1 基本的考え方

- 町田リサイクル文化センターの建替えを契機として、最終処分場跡地と旧埋立地等に、健康増進・スポーツ振興、交流、防災、安全教育施設などの多様な機能を導入し、今ある資源とのネットワークを図りながら、忠生地域の魅力を高め、**「次世代が楽しく安心して生活できる地域」に再生**していく。
- こうした地域再生を実現するため、構想・計画づくりの段階から、**町田市と地域住民が議論を交わしながら、町田市の計画に位置づけ、できることから段階的に実施**していく。

2 地域再生の方向

3

①拠点施設を活用したまちづくり

- 短期的には、老朽化している市立市民プールの建替えを視野に入れながら、**市民プールの駐車場等を活用し、地域交流や防災拠点機能を導入**していく。
- また、中期的には、町田リサイクル文化センター建替えに伴う**最終処分場跡地と旧埋立地及び現焼却施設の撤去後の跡地**について、町田市と地域住民が協働しながら土地活用の方角を検討していく。**健康増進・スポーツ振興や地域交流、安全教育施設などを建設するとともに、地域外から人を呼び込むレクリエーション機能を導入**するなど、これら拠点施設整備により、地域交流や避難・防災機能を含む、地域の魅力アップ・活性化に資するまちづくりを行っていく。

4

②今ある自然資源を活用したネットワークの強化

- こうした拠点的な機能配置と併せて、尾根緑道など今ある自然資源を活かしながら、健康増進・スポーツ振興と絡めて、地域レベルで展開できる**ウォーキング、ジョギング・サイクリングコース、散策ルートなど、回遊ネットワーク**をつくっていく。
- 多摩都市モノレール及び小田急多摩線延伸に伴う新駅設置と絡めて、新駅及び地域内の要所にバス停を設けネットワークするコミュニティバスを運行する。現在、路線バスは本数が少ないこと、また、幹線道路を走り、地区内のきめ細かいルート設定がなされていないことから、**地区内外をきめ細かくネットワークするルートにコミュニティバス**を走らせる。

3 重点事業

①市立市民プールの駐車場等を活用した 地域交流・防災拠点整備

- 老朽化した市立市民プールの建替えを視野に、市民プールの駐車場等を活用し、地域交流の拠点として、多目的ホールやミニシアター、排熱を利用した温浴施設など、子どもから高齢者まで多世代が楽しみ交流できる場を作る。
- 併せて、地域の防災拠点として、災害時の避難場所やヘリポート、災害医療センター等を整備していく。



②最終処分場跡地と旧埋立地等を活用した 総合的なスポーツ公園の整備

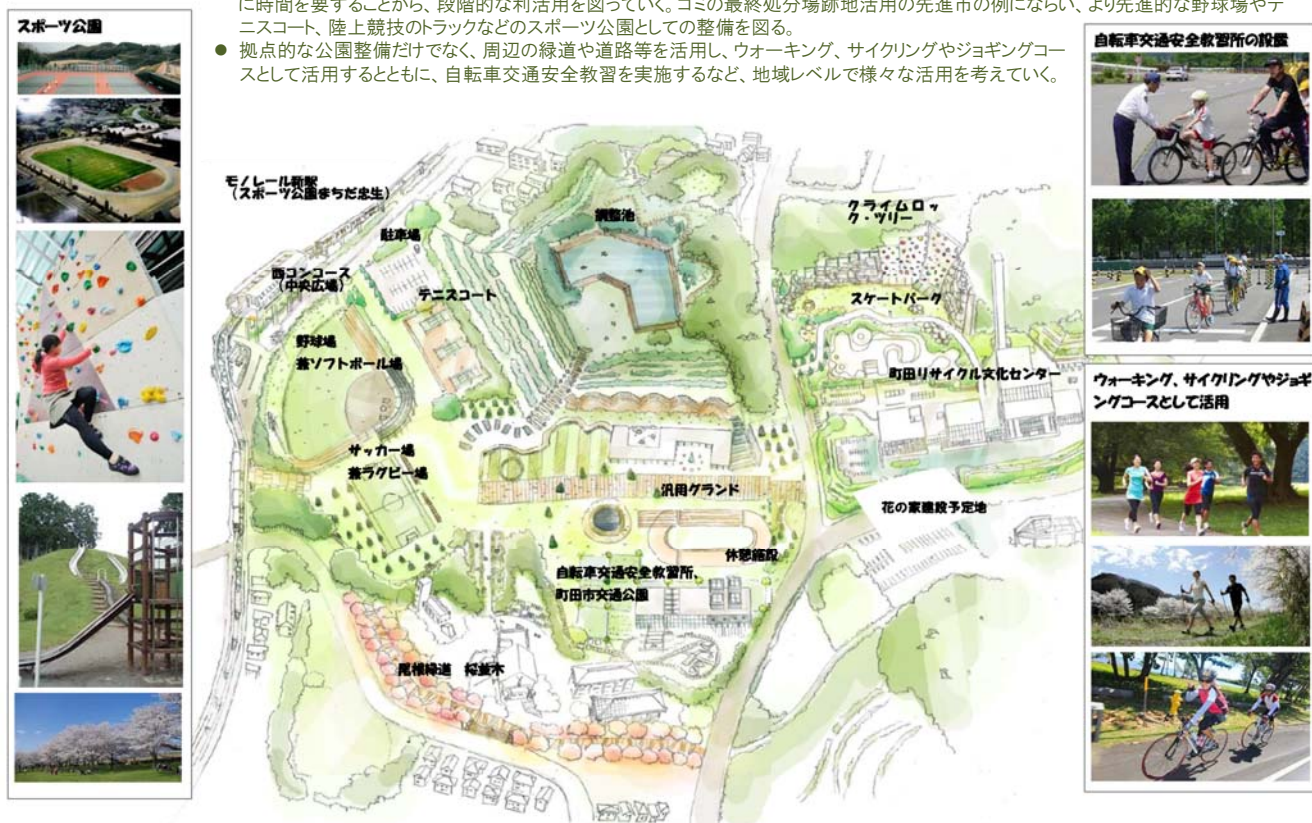
6

- 町田リサイクル文化センターの建替えに伴う最終処分場跡地と旧埋立地及び現焼却施設の撤去後の跡地については、建築的な利用に時間を要することから、段階的な利活用を図っていく。ゴミの最終処分場跡地活用の先進市の例にならい、より先進的な**野球場やテニスコート、陸上競技のトラック、自転車交通安全教習所(町田市交通公園)の施設などのスポーツ公園※としての整備**を図る。
- そして中期的には、避難施設を兼ねた大規模体育館や地域交流施設などを整備し、**総合スポーツ公園※**としていく。
- 拠点的な公園整備だけでなく、**周辺の緑道や道路等を活用し、ウォーキング、サイクリングやジョギングコースとして活用**するとともに、自転車専用道の設置や既存道路に信号、交通標識、標示、案内板などを整備するほか、多摩都市モノレール及び小田急多摩線の新駅前に自転車貸出し返却のストックヤードなど設置し、教習所施設と繋げるなど**地域を回遊する自転車交通安全教習コースを整備**する。

※総合スポーツ公園：野球場(兼ソフトボール場)、サッカー場(兼ラグビー場)、自転車交通安全教習所、テニスコートなど

※町田リサイクル文化センター跡地：スケートパーク、クライムロック・クライムツリーなど

- 町田リサイクル文化センターの建替えに伴う最終処分場跡地と旧埋立地及び現焼却施設の撤去後の跡地については、建築的な利用に時間を要することから、段階的な利活用を図っていく。ゴミの最終処分場跡地活用の先進市の例にならい、より先進的な野球場やテニスコート、陸上競技のトラックなどのスポーツ公園としての整備を図る。
- 拠点的な公園整備だけでなく、周辺の緑道や道路等を活用し、ウォーキング、サイクリングやジョギングコースとして活用するとともに、自転車交通安全教習を実施するなど、地域レベルで様々な活用を考えていく。



③ 尾根緑道周辺緑地の保全と散策ルートの整備

- 戦車道として整備された現在の尾根緑道は、桜の名所として地域内外に親しまれてきた。今後とも、こうした地域の資源を保全拡充していくことで、地域の魅力アップにつなげていく。**尾根緑道や隣接する公園・緑地を保全するとともに、周辺に散在する公園緑地の利用や展望台や休憩スペース等の整備**などを行い、地域の散策・回遊動線として整備していく。

④ 北部丘陵の資源を活かした道の駅の整備

- 忠生地域北側には、北部丘陵が広がり里山としての風景が広がっている。多摩都市モノレール及び小田急多摩線の延伸に絡めて、道路ネットワークの強化も図られることから、北部丘陵の資源・魅力を活用し地域観光を促進することも、地域の魅力アップにつながる。そのため、多摩都市モノレールが計画されている道路沿いに、**体験農業ができるなど「忠生ならではの道の駅※」を整備**し地域内外から集客する。

※直売所、農業ハウス、温室、農園、レストラン、パークゴルフ、牧場など

■道の駅のイメージ



⑤地域防災・交流機能の強化

- 町田市の中核地域の核となる拠点的な整備と併せて、町内会・自治会レベルでの防災・交流を促進するよう、機能強化を図る。まず、**防災倉庫を一定の圏域ごとに均等に配置**する。また、**老朽化した町内会館・自治会館の建替え・改修や現在不足する町内会館を新規に整備**していく。

4 地域再生の実現に向けて

10

- 重点事業を短期、中期、長期の時間軸の分類し、町田市と地域住民が構想・計画段階から議論を重ね、方向を共有化し、町田市の計画に位置づけ、できることから実現していく。

- ①**短期**: 2020年の新ゴミ施設完成までに、市民プールの駐車場等の温浴施設と地域交流・防災機能施設の整備を実現。
- ②**中期**: ゴミ跡地等各跡地活用までに、最終処分場跡地・旧埋立地・現焼却施設跡地のスポーツ公園・自転車交通安全教習所、避難施設を兼ねた大規模体育館、地域交流施設などを整備。さらに、今ある自然資源と道路等のインフラを活用したネットワークの強化として、各種コースやコミバス、自転車交通安全教習コースを整備し、交通安全教習所と公共施設やショッピングをレンタルサイクルやコミュニティサイクルのネットワークを構築。町内会館新設等の整備。
- ③**長期**: 多摩都市モノレールと小田急多摩線延伸の駅完成までに、多摩都市モノレールと小田急多摩線延伸の都市計画道路や新駅の開設にあわせて、道の駅設置や自転車のレンタルサイクル・コミュニティサイクル事業を実施。

[illegible]